

創

—第91回—

100年の夜明け

今年もいよいよ終わろうとしています。

今年皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。

コロナ禍からの脱却、物価高騰、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルとパレスチナの戦争、と日本や世界に目を向けると様々な事がありました。

別府も国際観光地ですから世界情勢の影響を直接受けましたが、ようやくかつての賑わいが戻り、観光客の皆さんがほぼ完全に戻ってきました。悲願だった新図書館も幾多の困難を乗り越え、ようやく建設着工するところまで来ました。

来年は別府市制100周年の記念すべき年を迎えます。4月に記念式典を開催し、続いてド派手に温泉まつりからスタート、100年の総決算となる



別府市長
長野 恭紘

様々なイベントが100周年の冠をつけて開催されます。ぜひ市民総参加で祝いましょう。そして、次の100年目の第一歩となる輝かしい一年にできればと願っています。

来年は「コロナからの完全復活元年」となるでしょう。コロナという最大の危機から力強く脱却し、より逞しくなっていくのが100周年というのには偶然ではなく必然で、別府市の希望の未来を予見していると思えます。

先人に感謝し、さらに心豊かで幸せな別府へ。そんな気持ちで輝かしい新年を迎えたいと思います。

(12月11日執筆)



フォトべっぴ



共生社会のまちづくりを一別府公園で「2023 別府市福祉まつり・市民と消防のつどい」が開催されました。体験コーナーでは、子どもたちがちびっこレンジャー体験やはしご車との記念撮影を楽しみ、会場はとても賑わいました。



別府の魅力再発見—日間棚田で「湯のまち棚田マルシェ」を開催しました。会場では、5つの棚田米が味わえるコーナーや棚田ウォークラリーなども行われ、来場者は棚田のお米と自然の魅力を満喫していました。



温泉×炭酸でウェルネス—別府市とアサヒ飲料株式会社で新湯治・ウェルネスツーリズム構想の実現を目的に包括連携協定調印式を行いました。今後、「市民一斉大計測会」などを通して、温泉入浴と炭酸水の飲用で健康増進を図る取組などを行っていきます。



温泉の効果を「見える化」—市民一斉大計測会が市営温泉7か所で12月2日から始まりました。計測会は1月末まで行われ、参加した人々は入浴前後の身体の変化を数値で確認し、どのような効果があるか興味深そうに話を聞いていました。